

北加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H25春に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
海洋高校の跡地	資料には年間4～5万人の利用を見込むと書いてあるが、観客席もないところがそんなにも利用されるのか疑問。練習場とは言え、試合をする際に観客席がないと不便ではないか。	おっしゃる通り観客席となる部分は少ないと思います。フットボール場のまわりには農地もあり、今後状況をみて検討していきたいと思います。
旧アルプス農協北加積支店跡地	公民館の周りには小学校や消防分団があり、学校の関係や地区の会合などでもアルプス農協の駐車場を使わせてもらってきた。農協は跡地を売却したがっているという話を耳にするが、よそに売却されると駐車場が使えなくなる。市で買い取ってもらえないか。	アルプス農協の跡地については、浜加積地区でも同様の話が出ています。検討したいと思います。
市職員の対応	職員の対応について、昨年の市長と語る会などでは態度や対応が悪いというような話がでたが、先月申告相談に税務課に行った際の対応は悪くなく、非難されるようなことは一切なかった。	ありがとうございます。
ほたるいか海上観光	漁師は船で出ているのに観光船は欠航したりしていると聞くと、欠航の判断は誰がしているのか。また、わざわざ遠方から来ている人がいても乗れないというのは寂しい。なんとかならないか。	船長が出航、欠航の判断をしています。観光船は網に横付けするため、観光客が片側に寄り、船が傾きます。そのため波や風に弱くなります。安全のために実際に沖まで出て、潮の速さ、波の高さ、風の様子などを確認して判断をしていますのでご理解ください。また、ほたるいかの網は1日1度はあげないといけません。前日のものと当日のものが混じると商品価値が大きく下がるからで、そのため漁師は少々の波でも出しています。
コミュニティバス	年末年始にも走らせることはできないか。また、財政的にも厳しい折、運賃を地鉄バス並みにしてもよいのではないか。	年末年始の営業はなかなか難しい面がありますが、検討してみます。コミュニティバスは高齢者、交通弱者のための福祉バスのような意義もあり、運賃の値上げについては考えていません。
中新地内の廃屋	昨年の質問の際の回答に、生活保護受給者所有の廃屋取壊しについて「福祉事務所で確認する」とあるが、確認結果については書かれていない。	福祉事務所に確認したところ、難しいとのことでした。町内会長に電話で説明させていただいていましたが、資料に反映していませんでした。申し訳ありません。
空き家対策	今年度の主な事業の「まちなか再生事業」は町部で空き家の撤去をする事業だと思うが、法律上難しいと言っていたはずなのに予算さえあればやれるということではないか。町部だけでなく他の地域の空き家も撤去されるようになるのはいつごろか。	「まちなか再生事業」は、空き家の撤去等を行う事業ではなく、町部で新たに住宅を取得される方や、空き地や空き家を活用して飲食業などを開業される方へ補助金を交付する事業です。空き家の撤去については滑川市だけでなく全国的な課題となっていますが、法律上の問題や税金投入の是非の問題もあり非常に難しい状況です。
養鶏場建設問題	進捗状況は？	鳥インフルエンザ等が発生した際には焼却又は埋却処分が義務づけられており、埋却のための土地の確保やその他の措置を講じることとされていますが、タカムラは埋却のための土地の確保ができていないと聞いています。タカムラは移動式の焼却炉で対応する案を出しているとも聞いていますが、地元が具体的な機材等の説明を求めているにもかかわらず、地元説明会も開催できていないのが現状です。市としては、各所と連絡をとりながら最後まで頑張っていきたいと思っています。
あすなろ滑川の木	NPO法人あすなろ滑川の施設の玄関先に木が2本あるが、駐車の際に非常に邪魔になっている。建物は市有地に建っており、市の地面から木が生えていること、あすなろ滑川は営利団体ではなく資金的にも厳しいことから、市のほうで木を伐採してもらえないか。	2本の木があると非常に不便だというお話をいただいており、切る段取りをしています。
健康診断	自分が現役のころ受けていた人間ドックに比べて、現在市で受けている健康診断はチェック項目が少ない。今年度の市の事業で厚生連に最新医療機器導入のための費用を助成するとなっているが、それによって健診項目が増えたりしないのか。	厚生連は最新のCTを導入すると聞いています。それによって健診項目が増えるわけではありませんが、質の高い医療が期待されます。健診項目については、メタボ健診に重点を置く国の方針により、昔に比べて最低限実施する項目の数は少なくなっています。また、国民健康保険加入者の健康診断について、滑川市独自で実施している項目もありますが、項目を増やすと市の負担が増すこともあり、会社等が実施する健康診断に比べると項目としては少ないかもしれません。
脳検査の助成	脳溢血や脳梗塞、認知症など脳の病気はいろいろあるが、検査をしてみたくてもMRIなどの検査費用がとても高いと聞いた。市からの助成を検討してもらえないか。	国民健康保険加入者に脳ドック検診の助成を行っています。対象の年齢の方は5000円の自己負担で脳ドック検診を受けられます。

北加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H25春に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
滑川運動公園の整備	手がつけられていないが、今後の考えを聞きたい。	中加積地区の下水道整備ででた土砂を活用したいと考えているので、公園の整備は土砂を全て運び入れてからとなります。この方法であれば下水道整備の際に排出される土砂の処分費、公園整備のための土砂の購入費が大きく削減されます。公園については、日本庭園をイメージして設計したいと考えています。気軽に使えるパークゴルフ場がほしい等の意見もいただいております、地元の方々とともに協議を重ねていきたいと考えています。
法花寺の通学路	法花寺から小学校まで上がる道路について、通学路になっているが、途中から歩道の白線が無い。危険なので何か対応してもらえないか。冬場の除雪についても、道路中央は除雪されるが車が通れるくらいの分しか除雪されず、子どもらが危険である。付近住民が小型の除雪機で端の除雪を行っている。	北加積の中でも優先的に直すべき道路であるとの認識を持っています。今すぐにといいのは難しいですが、整備する方向で検討します。除雪について、近隣の方のご協力に感謝いたします。雪を寄せる場所の関係もあり、実際の除雪現場に入ってみないとわからないこともあります、がんばります。
配布物	道路の舗装についての班回覧が回ってきたが、年度が間違っていた。今後このようなことが無いようにしてほしい。	配布物等につきまして、記載内容の確認を徹底します。申し訳ありませんでした。
学力到達度検査	確かな学びサポート事業として、市内全小学生を対象に年1回学力検査を実施するとあるが、全国学力・学習状況調査との兼ね合いや検査結果の利用方法は？	全国学力・学習状況調査の出題範囲は前学年までの範囲となります。調査結果は学校ごとの傾向や課題等を把握し、今後に活かすといった形で利用されます。各学年で学ぶ内容は決まっているため、テスト結果をもとに前学年の範囲の復習というのは難しいものがあります。 市独自で実施する到達度検査は1、2学期の範囲を出題し、ひとりひとりの理解度を把握するものです。その結果を利用することにより、3学期に弱点の克服や、必要に応じたきめ細やかな指導、学習が可能となると考えられます。